

奨学生募集要項（2025年度）

No. 514

直接応募（C区分）

奨学団体名 （奨学金名称）	渥美国際交流財団 【2026年度予約採用】		
2025 募集人数	全国で18名程度 （同じ出身国/地域からの奨学生5名を上限）		
募集学年	博士（博士後期）課程		
募集学部・研究科 研究分野等	・ 2027年3月（秋入学は2027年9月）までに博士号を取得する見込みのある者 ・ 正規在籍年限を超えたために、あるいは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する者		
財団締切時期	2025年9月20日（土）		
給付	月額 250,000円	貸与	無
授業料相当額支給	無		
（採用時）一時金	無		
併給	一部可	年齢制限	無
就労制限	—	出身地制限	奨学金受給期間に、所属する大学院研究科（研究室）と居住地が、関東地方（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県）または近畿地方（大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県・三重県）にある者
その他応募条件	・ 渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない者（常勤職者の受給、および月額 10 万円以上の他の奨学金との重複受給は認めない） ・ 支給期間は、2026 年4月～2027年3月、または 2026年9月～2027年8月の1年間 ・ 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動（募集要項参照）に積極的に参加する意思のある者 ・ 申請受付は財団HPより、2025年9月1日（月）～9月20日（土）の期間に行うこと		

公益財団法人渥美国際交流財団

2026 年度奨学生募集要項

渥美国際交流財団は、奨学金受給期間に日本の関東地方または近畿地方に居住し、
関東地方または近畿地方の大学院博士課程に在籍する留学生および日本人学生を対象に、
2026 年度奨学生を下記の要項に従って募集します。

(1) 応募資格（下記の資格すべてに該当すること）

1. 日本の大学院博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方。正規在籍年限を超えたために、あるいは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。
2. 渥美奨学金の受給期間に、所属する大学院研究科（研究室）と居住地が、関東地方（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県）または近畿地方（大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県・三重県）にある方。
3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動（下記参照）に積極的に参加する意思のある方。
4. 日本語が堪能な方（応募書類と面接は全て日本語だけです）。日本人は外国語能力が高いことが望ましいですが条件ではありません。
5. 渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方。
（当財団は常勤職の方の受給、および月額 10 万円以上の他の奨学金との重複受給は認めません。）

(2) 交流活動

1. 当財団は、毎月の例会で学業や生活について報告していただいた上で、奨学金を支給します。尚、例会等に参加するための交通費は支給しませんので、予めご了承ください。ただし、居住する地方外で例会が開催される場合は、交通費を支給する場合があります。（例：近畿地方在住の奨学生が関東地方で開催される例会に参加する場合）
2. 毎年数回奨学生全員（元奨学生を含む）と当財団の理事・評議員ならびに選考委員を招き、親睦会を開催します。夏には小旅行へ招待します。毎年 2 回研究報告会を開催し、対象年度の奨学生に研究成果を発表していただきます。
3. 渥美奨学生は、自動的に同窓会＜ラクーン会＞、及びラクーン会会員が中心となって運営している国際的かつ学際的な研究者ネットワーク＜関口グローバル研究会（SGRA）＞に入会し、活動に協

力していただきます (<http://www.aisf.or.jp/sgra/> 参照)。また、SGRA が開催するアジア未来会議の参加費を補助します (<http://www.aisf.or.jp/AFC/> 参照)。

(3) 奨学金の詳細

1. 奨学金は月額 25 万円です。2026 年度は 18 名程度採用する予定です。但し、同じ出身国/地域からの奨学生は 5 名を上限とします。海外の大学院より博士号を取得するために日本で研究する方で、応募時に海外在住で奨学期間のみ日本へ留学する場合は航空券代を補助します。
2. 奨学金の支給期間は、2026 年 4 月～2027 年 3 月、または 2026 年 9 月～2027 年 8 月の 1 年間で継続は認められません。開始月については相談に応じます。
3. 次のいずれかに該当すると認められた場合は、奨学金の支給を停止します。
 - a. 在籍する大学院の学籍を失った時。
 - b. 病気その他の事由により修学または研究を継続する見込みがない時。
 - c. 指導教官から修学または研究の継続が不適格と認められた時。
 - d. 倫理に反する行為が認められた時。
 - e. 奨学金申込書類に虚偽が認められた時。
 - f. 正規の就職が決まった時。
 - g. 当財団応募資格である交流事業に参加する意思がないと認められた時。
(例：複数回連続して月例会に不参加)
 - h. 当財団が奨学金支給の継続を不適当と認めた時。

(4) 募集方法

1. 奨学金希望者は、2025 年 7 月以降、各大学院の奨学金担当課または当財団事務局まで、募集要項をご請求ください。また、当財団のウェブサイトからもダウンロードすることができます。申請は当財団のウェブサイトからアカウントを作成してオンライン上で申請をしていただきます。申請受付期間は 2025 年 9 月 1 日 (月) ～9 月 20 日 (土) です。

2. 第 1 次申請

I. アカウント作成

2026 年度渥美奨学生に応募する方は、当財団のウェブサイトから 2026 年度渥美奨学生申請アカウントを作成してください。アカウント作成には申請者の氏名及び E メールアドレスが必要になります。また、申請者アカウントの本登録手続き時に指導教官の氏名と E メールアドレスも入力が必要となりますので、ご準備の上手続きをしてください。

※アカウント作成時の注意点：

・アカウント作成に関する通知メールは info@aisf.or.jp から送信されます。info@aisf.or.jp から送信されるメールを受信できるようにしておいてください。また、自動的に迷惑メールフォル

ダに分類されてしまう場合がありますので、メールが届かないときは迷惑メールフォルダもご確認ください。

・アカウント作成に使用したメールアドレスは、オンライン申請システムのログイン ID として 2025 年 12 月 31 日まで使用します。本登録後は変更できませんのでご注意ください。

II. 申請書（履歴書含む）の入力

I. で作成したアカウント情報でオンライン申請システムにログインして申請書に必要事項を入力してください。また、申請者の顔写真（上半身の近影、2MB まで）をアップロードしてください。申請内容は途中で保存することができます。申請受付期間中は「最終確認」→「提出」ボタンをクリックして提出を完了するまでは何度でも内容を編集することができます。

申請書の登録ページの後半部分で履歴書にも必要事項を入力してください。学歴（高校から、学校の所在地を記入）、職歴（勤務地を記入、学業に関連するアルバイトも含む）、取得資格、言語能力、賞罰／奨学金／研究助成金（受給期間と金額も記入）、ボランティア活動（従事した年を付記）について記入してください。資格、賞、奨学金や助成金、ボランティア活動は書類審査においてプラスに評価されます。記入がない場合はその項目には加点されません。

※申請書・履歴書入力の注意点：

- ・お名前が 1 つの方は、システムの便宜上「姓」の欄に入力をお願いします。
- ・英数字は半角で入力してください。
- ・博士論文テーマ（タイトル）が英文等日本語ではない場合は、必ず日本語訳も入力してください。

III. 添付書類のアップロード

オンライン申請システムより下記の添付書類をアップロードしてください。アップロードできる形式は、在学証明書は PDF または JPEG、PNG のみ、研究の要旨と研究計画書は PDF のみです（各ファイル 5MB まで）。

a. 在学証明書（発行から 6 か月以内のもの）

在学中の大学の在学証明書。海外の大学院より学位を取得する予定の方は、その学校の在学証明書も必要です。

b. 研究の要旨（A 4 サイズの紙に日本語でワープロ横書き、600 字以内、1 ページ以内）

一般の人にわかるように、研究の意義と概要を分かりやすく説明してください。できるだけ図表を挿入してください。ただし、図表をいれても必ず 1 ページ以内に納めてください。字数やページ数が規定より多い場合は、書類審査において減点となります。

c. 研究計画書（A 4 サイズの紙に日本語でワープロ横書き、図表も含めて 4 枚以内）

博士論文の研究について①論文タイトル②背景及び予測される成果③内容と方法（論文の章があるとわかりやすい）④進行状況と博士論文提出までのスケジュール⑤研究の今後の展望について書いてください。できるだけ図や表を挿入してください。

※海外から応募する場合には、冒頭に日本への短期留学を希望する理由と、日本での在籍予定（希望）大学名を必ず記入してください。

IV. 発表論文のリストの入力

申請者がこれまでに発表した論文の情報を入力してください。登録できる論文数は、博士論文に関連する論文が10本まで、その他特に掲載したいものが5本までです。

V. 評価項目表の入力（指導教官に入力を依頼してください。）

申請者が2026年度渥美奨学生応募アカウントを作成すると、アカウントの本登録手続き時に登録した指導教官のメールアドレスに指導教官用のアカウント仮登録メールが送信されます。指導教官に指導教官用アカウントを本登録して、評価項目表に必要事項を入力していただくよう依頼してください。評価項目表は日本語と英語で表記されています。評価項目表の登録受付期間は、申請受付期間（2025年9月1日（月）～9月20日（土））と同じです。指導教官がどうしてもオンライン操作が難しい場合は渥美財団事務局(atsumifoundation@aisf.or.jp)までご連絡ください。

（5）選考の日程

1. 第1次選考：オンライン申請システムにより提出された書類をもとに、事務局にて審査します。

*第1次選考の結果は、10月15日（水）からオンライン申請システムにログインして確認できます。また、合格者にはEメールでも通知しますので、受け取ったら必ず返信してください。

2. 第2次選考：第1次選考合格者（約40名）は、事務局にて予備面接を行います。面接の参考にするために、下記の通り追加書類の提出をお願いします。書類はオンライン申請システムから提出してください。追加書類の受付期間は2025年10月15日（水）～10月27日（月）です。受付期間以外は提出できません。アップロードできる形式はPDFのみです（各ファイル5MBまで）。

- 1 追加書類1：自己紹介文（日本語で1300字以内。留学生は日本留学を決めた理由と博士号取得後の計画、日本人学生は国際交流への関心、博士課程進学を決めた理由と博士号取得後の計画を必ず記す）

- 2 追加書類2：指導教官にオンライン申請システムから推薦書を提出していただくよう依頼してください。受付期間は2025年10月15日（水）～10月27日（月）です。先生のご都合によっては、事前に推薦書をお願いしておいてください。推薦書は日本語でお願いします。英語あるいはその他の言語の場合は日本語訳を添付していただいてください。日本

語訳がない場合は、事務局にて AI 翻訳を添付して選考資料とすることを予めご了承ください。

- 3 予備面接は、11 月 5 日（水）から 11 月 11 日（火）の間（日曜祭日を除く）に、鹿島建設 KI ビル（東京都港区赤坂）にて、ひとり 30 分程度行います。予備面接の日時は、第 1 次選考の合格通知と一緒に E メールにてお知らせします。面談日時の変更を希望される場合はお早めにお問い合わせください。関東地方または近畿地方に在住の方には予備面接のための交通費を支給します。応募時に関東地方または近畿地方以外（海外も含む）に在住の方は上記に準じて交通費を支給するため全額支給とはならない場合があります。止むをえない事情がある場合は Zoom による予備面接も可能です。

* 第 2 次選考の結果は、11 月 20 日（木）からオンライン申請システムにログインして確認することができます。また合格者には E メールでも通知しますので、受け取ったら必ず返信してください。

3. 最終選考：提出された書類と面接をもとに、選考委員会にて審査されます。

最終面接は 12 月 6 日（土）に鹿島建設 KI ビル（東京都港区赤坂）にて、選考委員によって日本語で行われます。関東地方または近畿地方に在住の方には最終面接のための交通費を支給します。応募時に関東地方または近畿地方以外（海外も含む）に在住の方は上記に準じて交通費を支給するため全額支給とはならない場合があります。やむを得ない事情がある場合は Zoom による面接も可能です。最終面接の時間変更はお受けできません。

* 最終選考の結果は、12 月 19 日（金）までに、最終面接した候補者全員に E メールで通知します。またオンライン申請システムにログインして確認することもできます。

（6）選考の方針

a. 渥美財団は、奨学生の皆さんに、国籍や学術分野が異なる人との出会いの場、自分の専門以外のことを話し合う場を提供しています。毎月の例会によって緊密なコミュニケーションをとりながら奨学支援を行います。奨学期間が終わった後も、母国にもどられた後も連絡を取り合い、ゆくゆくは世界的な規模の人的ネットワークを築けたら素晴らしいと思っています。そのため、当財団は、学問的に非常に優秀だけでなく、社会問題や国際交流に関心のある方を優先します。

b. 渥美財団のネットワークは、どんなにささやかであっても世界の調和ある発展のために役立たせたいと考えています。そのため、博士論文の研究内容が人類や社会、あるいは自然との「調和ある発展」へ貢献する可能性が大きいと考えられるものを優先します。

c. 奨学生の専攻分野と国籍については、なるべくバランスをとりたいと考えています。そのため、応募数の多い中国と日本出身の方は相対的に不利になる場合もあることを予めご了承ください。

d. 当財団の支給期間は1年間です。継続は認められません。そのため、奨学金支給期間に博士号を取得できる見込みのない方は適さないと考えます。2027年3月（秋入学者は2027年9月）までに博士号取得の見込みがない方は、次年度以後に応募してください。

年度内に博士号を取得した場合は、直近の3月か9月までは奨学金を支給します。

（7）個人情報の管理について

渥美財団は、個人情報を法令に従って安全かつ適切に取扱います。申込書類にご記入いただく個人情報は選考の目的にのみ使用します。ただし、合格者については、申込書類を財団にて保管し、ネットワーク事業の基本情報として活用します。不合格者の申込書類は、一定の年数財団で保管した後廃棄処分します。

尚、合格者リストは応募者の所属する大学や渥美財団関係者他、いくつかの民間奨学財団と（公財）助成財団センター（助成金受給者データベースをインターネットで公開中）にも送付しますので、予めご了承ください。また、渥美奨学生全員の氏名、出身国、在籍大学、研究分野を掲載した奨学生リストが渥美財団の年報とホームページで公開されます。

募集要項とオンライン申請システムはウェブサイトからアクセスできます

<http://www.aisf.or.jp/jp/>

お問合せ：渥美国際交流財団事務局 〒112-0014 東京都文京区関口 3-5-8

Tel: 03-3943-7612 Fax: 03-3943-1512 E-mail: atsumifoundation@aisf.or.jp